

2023年9月期  
決算説明資料



株式会社キャリア (証券コード:6198)

CAREER

これからの社会に新しいライフスタイルを。

01	会社概要
02	連結決算概要
03	2024年9月期業績予想
04	成長戦略
05	Appendix

# 会社概要

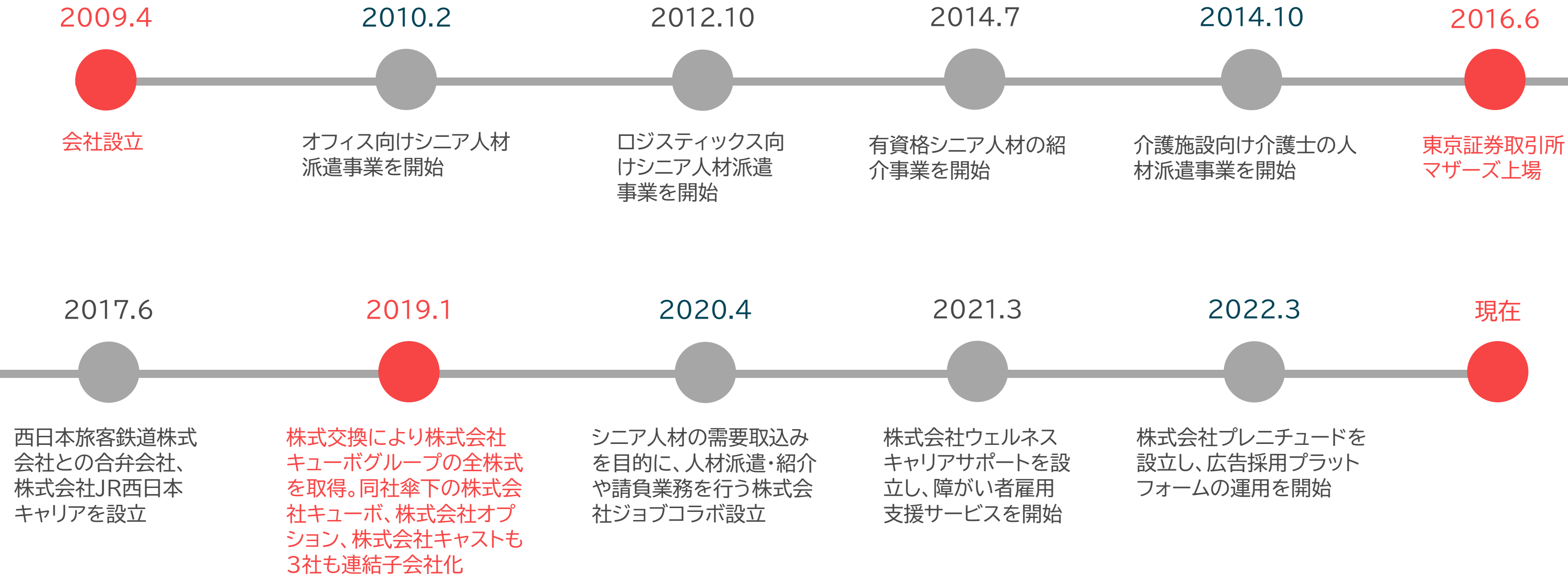


会社名	株式会社キャリア
本社所在地	東京都世田谷区太子堂四丁目1番1号 キャロットタワー14階
代表者	代表取締役会長兼社長 川嶋 一郎
設立日	2009年4月28日
資本金	157百万円 ※2023年9月末現在
子会社	株式会社キューボグループ・株式会社キューボ・株式会社プレニチュード 株式会社キャスト・株式会社ジョブコラボ、株式会社ウェルネスキャリアサポート
関連会社	株式会社JR西日本キャリア
事業拠点	札幌支店・仙台支店・郡山支店・新潟支店・金沢支店・高崎支店・水戸支店・大宮支店 宇都宮支店・秋葉原支店・池袋支店・新宿支店・渋谷支店・竹の塚支店・船橋支店 横浜支店・松本支店・静岡支店・浜松支店・名古屋支店・三重支店・京都支店 奈良支店・大阪支店・神戸支店・岡山支店・広島支店・高松支店・松山支店・福岡支店 熊本支店・鹿児島支店・沖縄支店 計33支店 ※2023年9月末現在

高齢化社会のなかで、すべての人々が仕事を通じて社会に貢献し、  
生きがいを見つけることのできる世の中の実現を目指します。

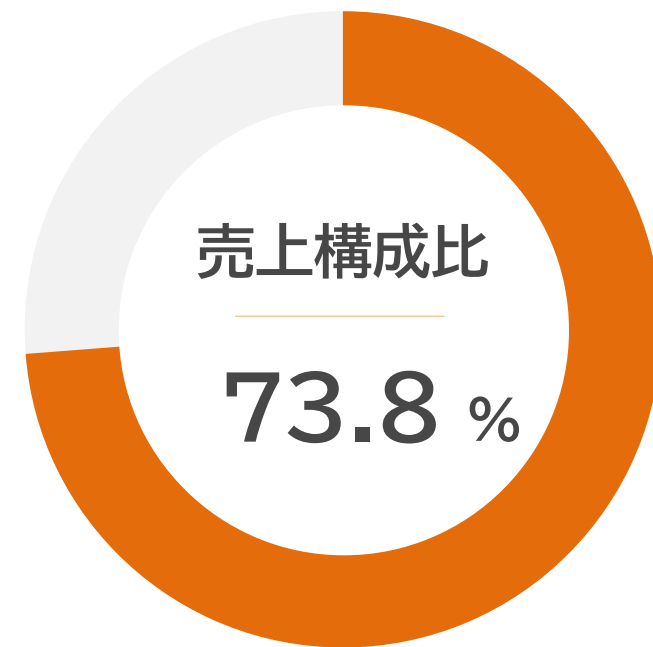
我々はあらゆる判断、行動においてこれを大切にし、よりよい社会のため、  
ステークホルダーの皆様と一緒に会社を成長させて参ります。

# 沿革



シニア比率の高まりと介護市場の旺盛な需要を背景に高い成長率を維持し推移

## シニアケア事業



看護、保育領域における有資格者と施設とのマッチング提案  
全国29拠点※複数ブランド展開による豊富なタッチポイント  
HRプラットフォーム運用によるチャネル強化



看護師



介護士



全国29拠点

介護市場への継続的な人材提供

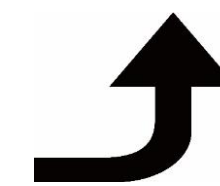
## シニアワーク事業



シニア特性や業務フロー分析に基づいたシニア就労の提案  
全国13拠点※複数ブランド展開による豊富なタッチポイント  
障がい者雇用支援サービスを通じたQOLの向上



シニア就労の提案力



QOLの向上

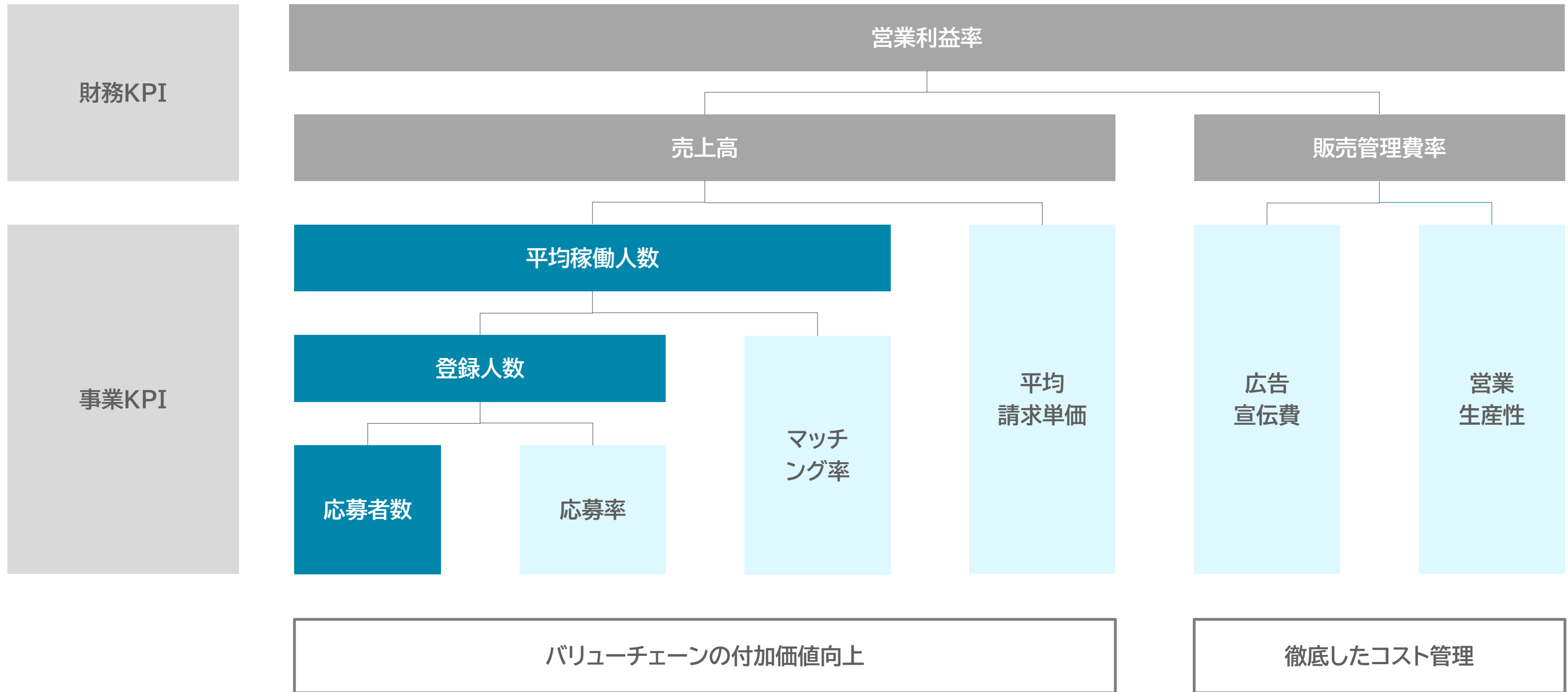


全国13拠点

アクティブシニアの雇用創出

※:2023年9月末現在

# キャリア 人材派遣事業における財務KPIと事業KPIの構造



01	会社概要
02	連結決算概要
03	2024年9月期業績予想
04	成長戦略
05	Appendix



外部環境



市場

- ✔ 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種需要の落ち着き
- ✔ **順調に回復**するインバウンド需要



業績

- ✔ 売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益は**過去最高**を更新
- ✔ 当初計画から利益率を大幅に改善(期中に業績修正を発表)

取り組みと  
実績



事業

- ✔ 新型コロナウイルスワクチンの大規模接種会場への看護師派遣の**収益貢献**
- ✔ 保育士派遣事業は引き続き**堅調に推移**
- ✔ 障がい者雇用支援事業の稼働率は**堅調に推移し黒字化実現**



全社

- ✔ 効率的な組織運営を図ることを目的とした連結子会社同士の吸収合併
- ✔ 開示資料(決算説明資料含む)の充実

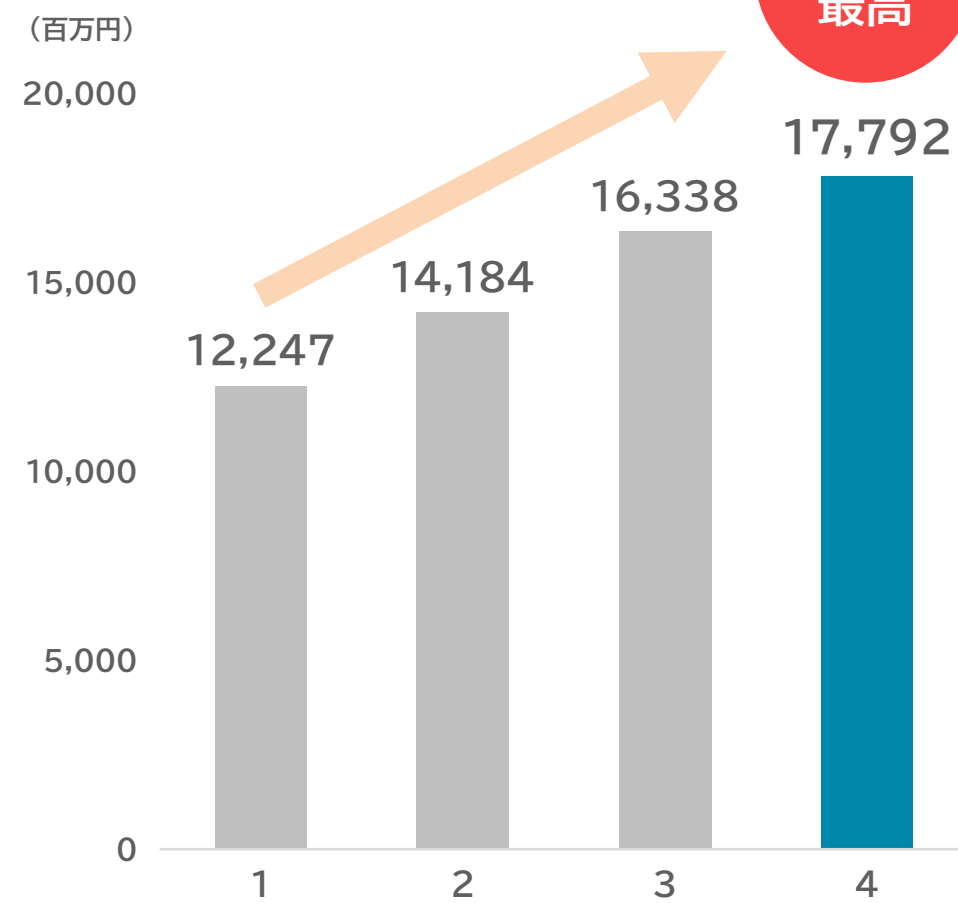
# 2023年9月期 連結業績推移

## 売上高

17,792 百万円

YoY※ 108.9%

過去最高

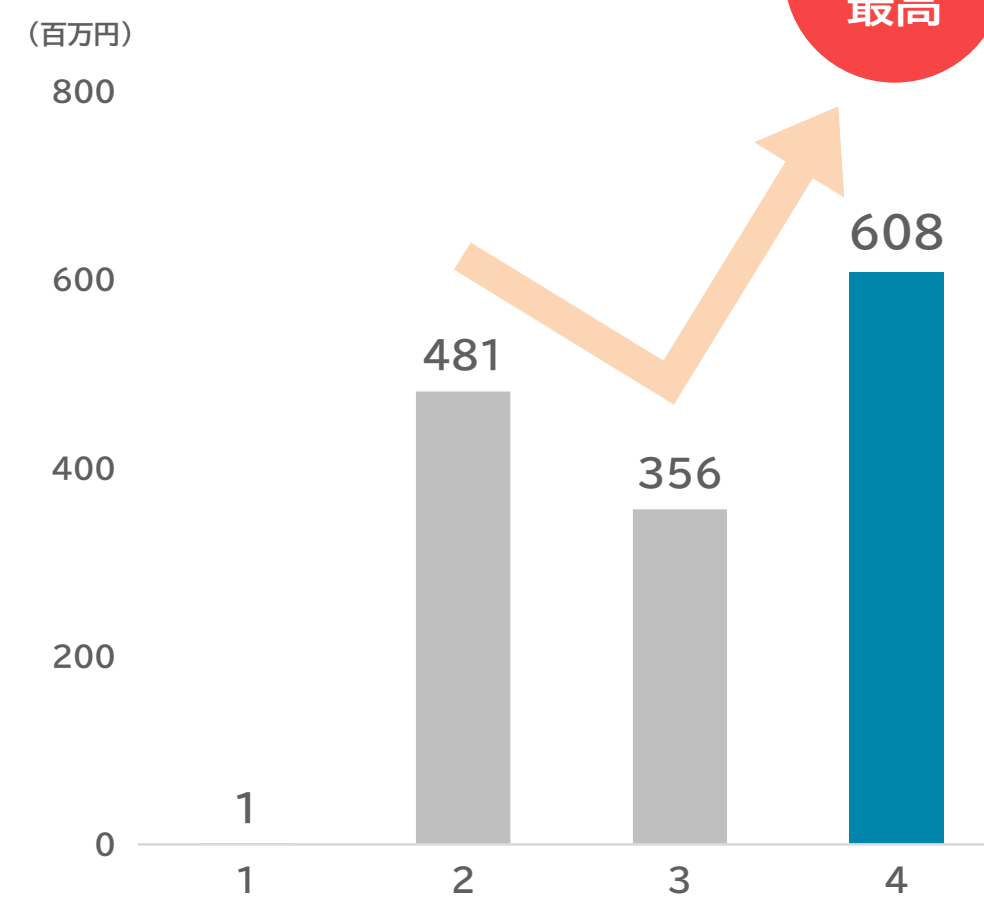


## 営業利益

608 百万円

YoY※ 170.9%

過去最高

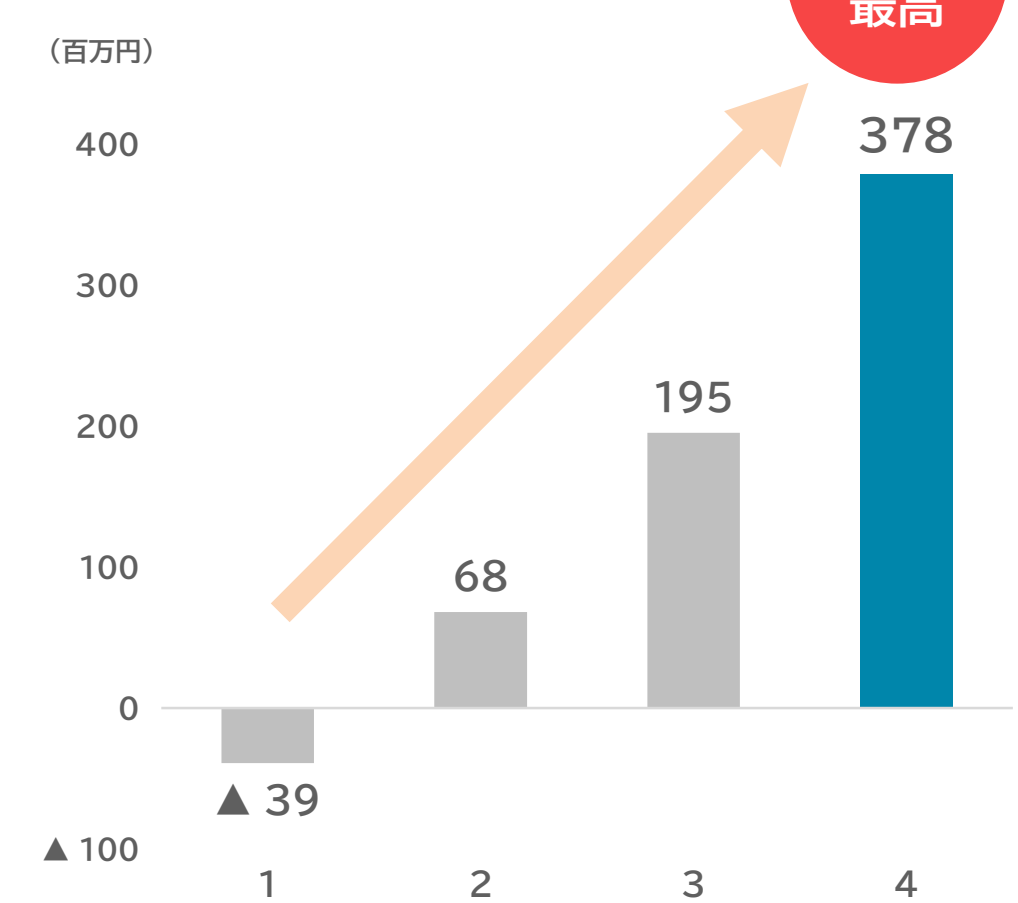


## 当期純利益

378 百万円

YoY※ 193.6%

過去最高



※ Year over Yearの略で前年同期比

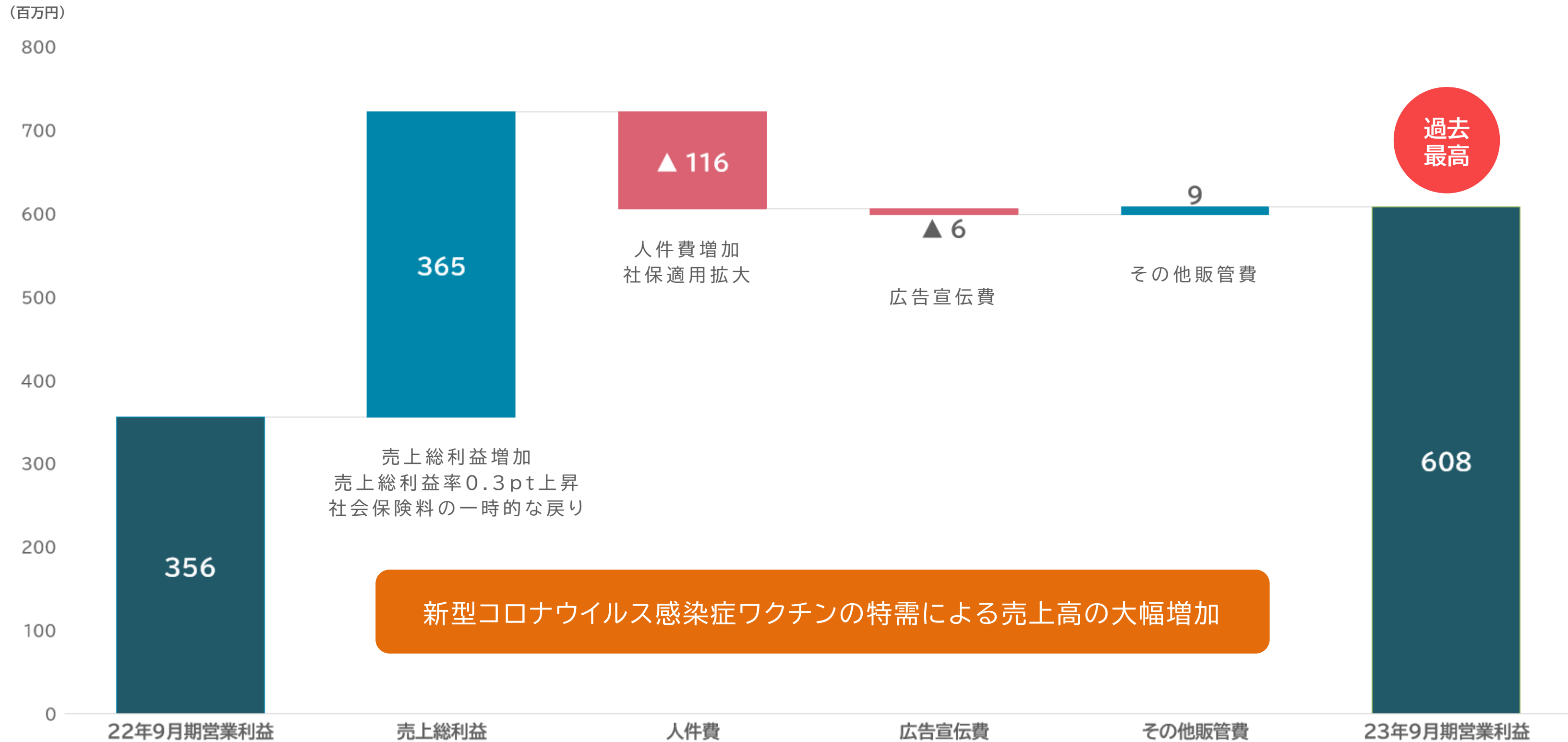
# 2023年9月期 連結業績



(百万円)

	2022年9月期	2023年9月期			
	実績	実績	前期比	通期業績予想 (2023/8/10公表)	達成率
売上高	16,338	17,792	108.9%	18,000	98.8%
シニアケア事業	11,947	13,136	110.0%	—	—
シニアワーク事業	4,390	4,655	106.0%	—	—
営業利益	356	608	170.9%	460	132.3%
経常利益	366	603	164.9%	460	131.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	195	378	193.6%	270	140.3%
1株当たり当期純利益	23.00円	44.53円	193.6%	31.74円	140.3%

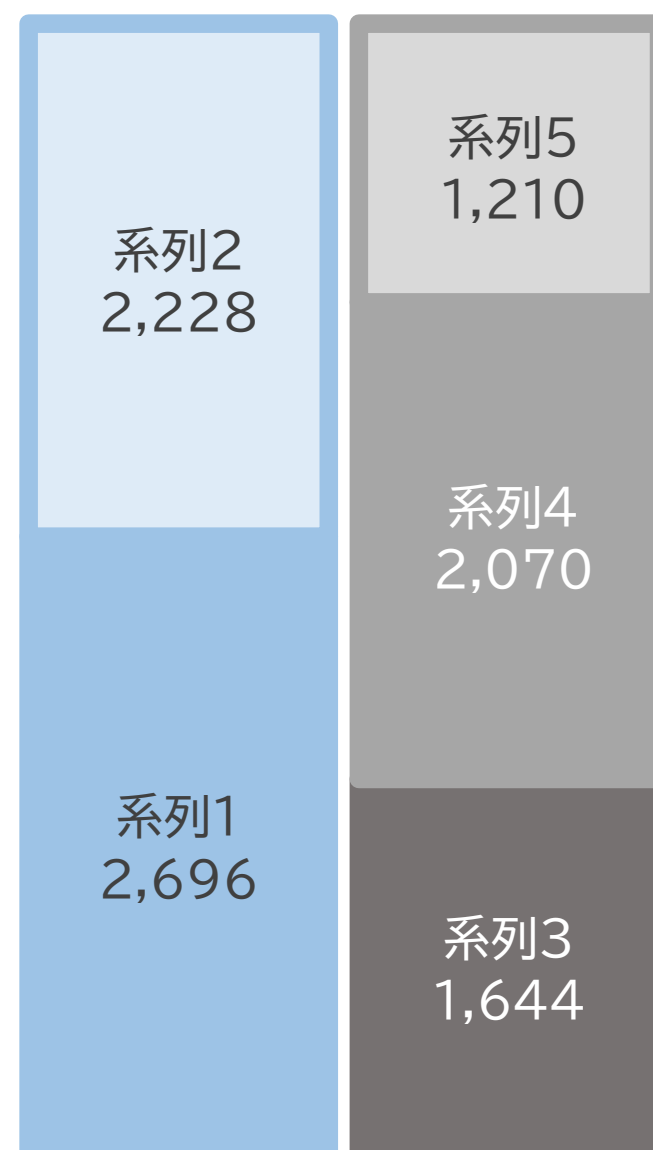
# 営業利益分析



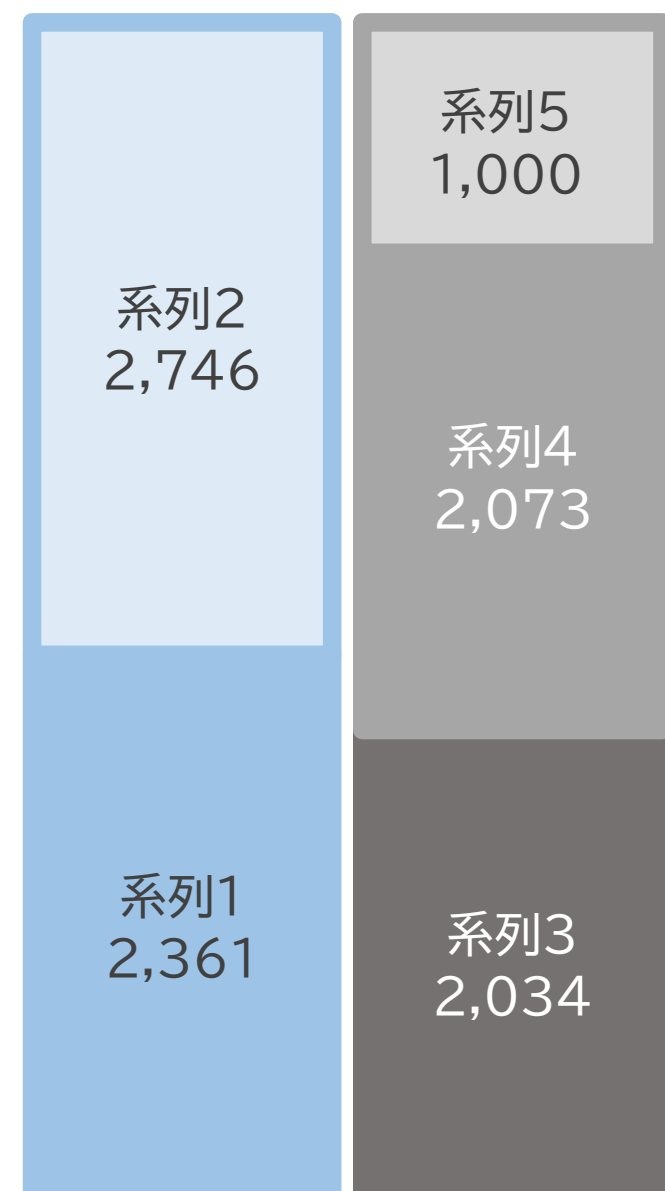
# 2023年9月期 財政状態(貸借対照表内訳)



2022年9月期  
自己資本比率 30.5%  
(百万円)



2023年9月期  
自己資本比率 36.8%  
(百万円)

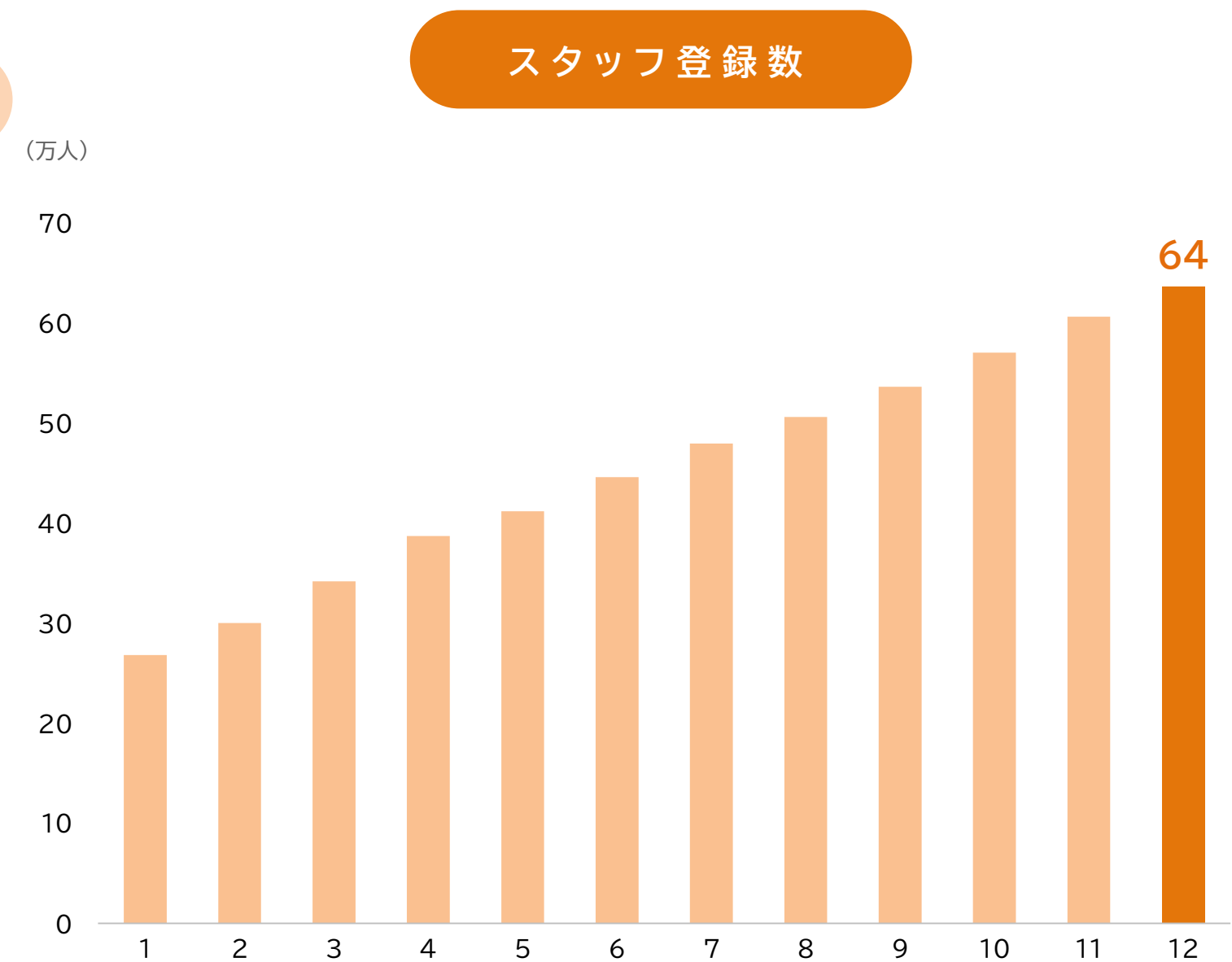
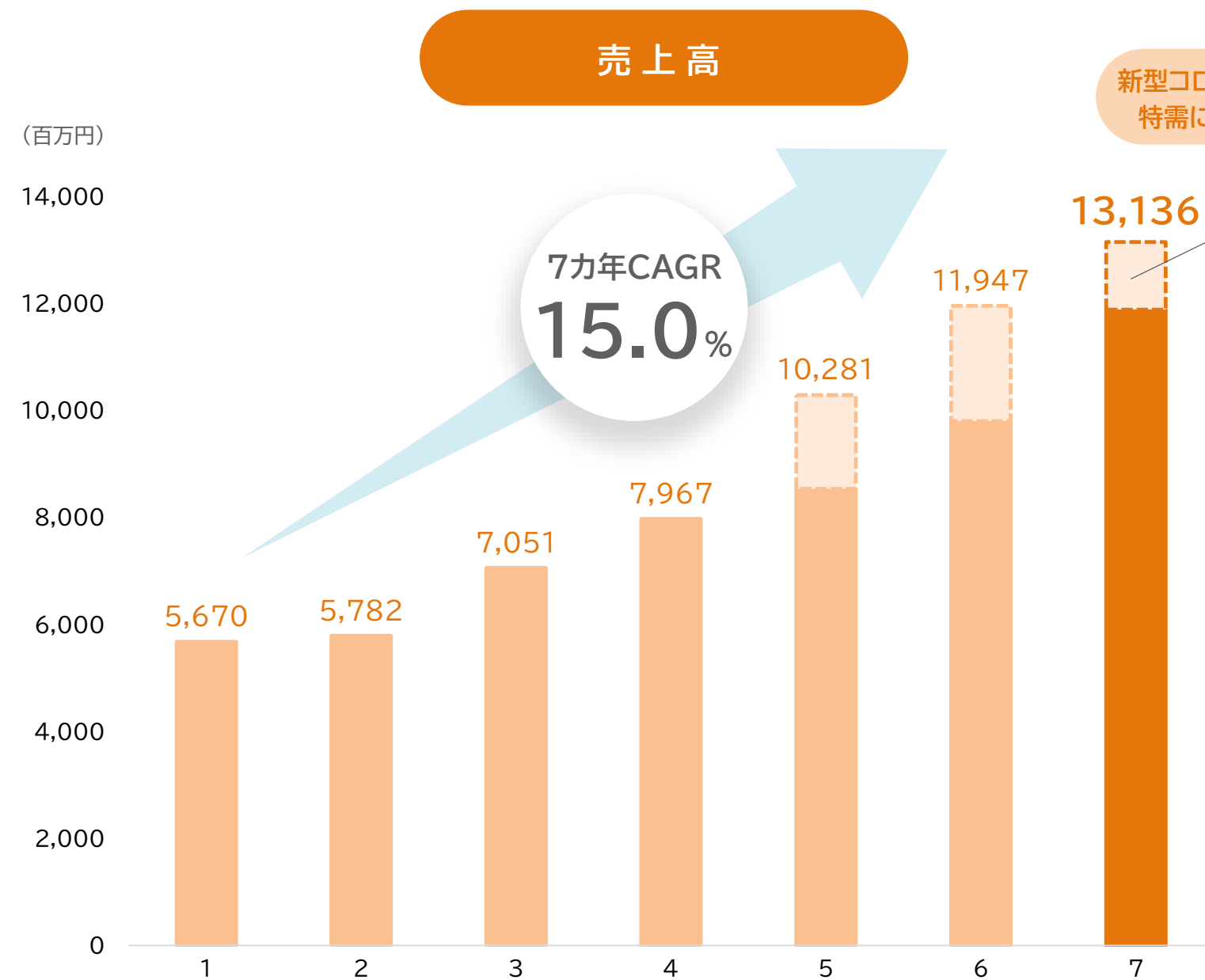


- ✓ 自己資本比率 **6.3** pt上昇  
⇒利益剰余金の大幅な増加
- ✓ Net Cash(現金及び預金-有利子負債)は  
ポジティブ

# シニアケア事業の売上高推移



売上高は2017年9月期の56.7億円に対し、2023年9月期で**131.3億円**、CAGR※15.0%と高成長を維持  
 コロナワクチン特需を除いたオーガニックによる売上は安定成長を継続。

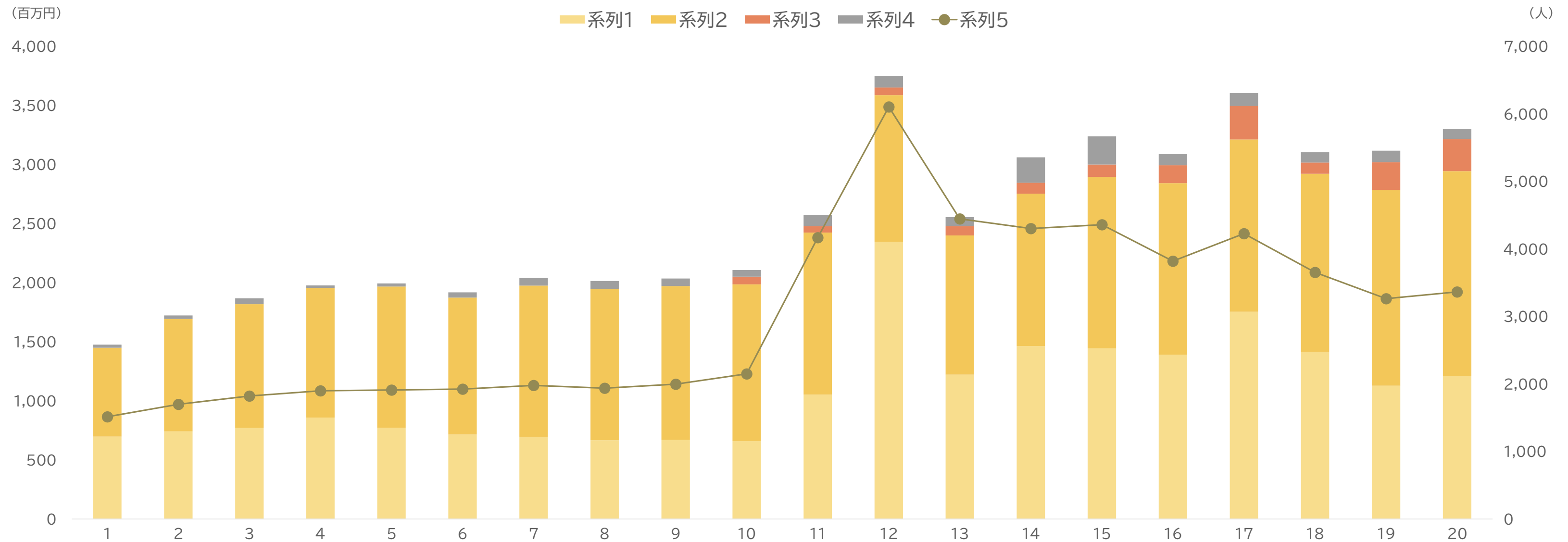


※:Compound Annual Growth Rateの略で、「年平均成長率」

# シニアケア事業の売上高(項目別) 四半期推移



今期もコロナワクチン特需による看護師派遣は収益に寄与したが、コロナ5類移行を受け、特需案件が終了。  
 高齢化社会が進む日本において、今後は看護師及び介護士の需要が更に高まり、スタッフを確保することで売上増加が見込まれる。  
 保育士派遣も堅調に推移しており、2023年1月の保育士の有効求人倍率は全国で3.12倍※と非常に高く、需要が見込まれる。



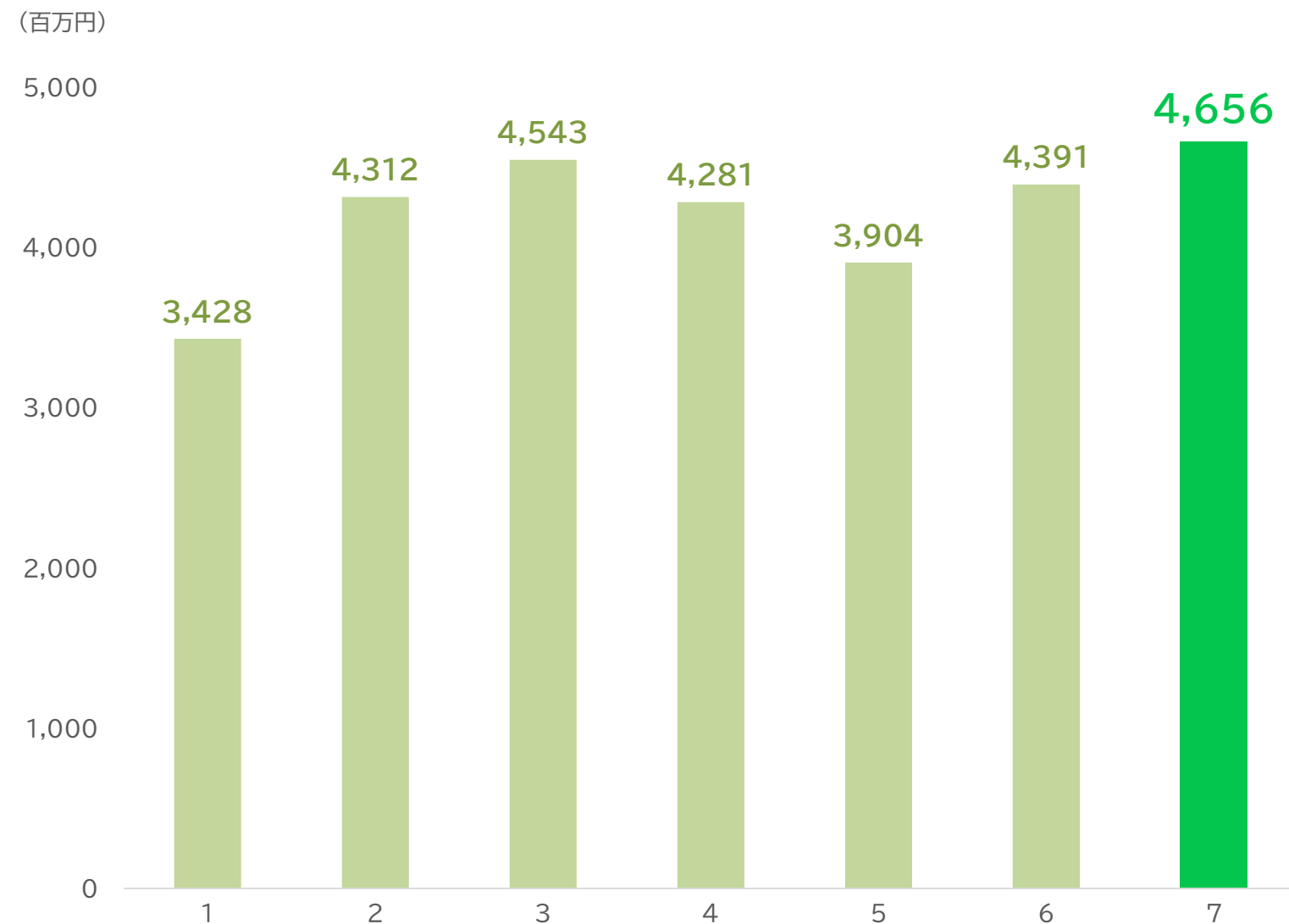
※:厚生労働省「保育士の有効求人倍率の推移(全国)」

# シニアワーク事業 売上高推移

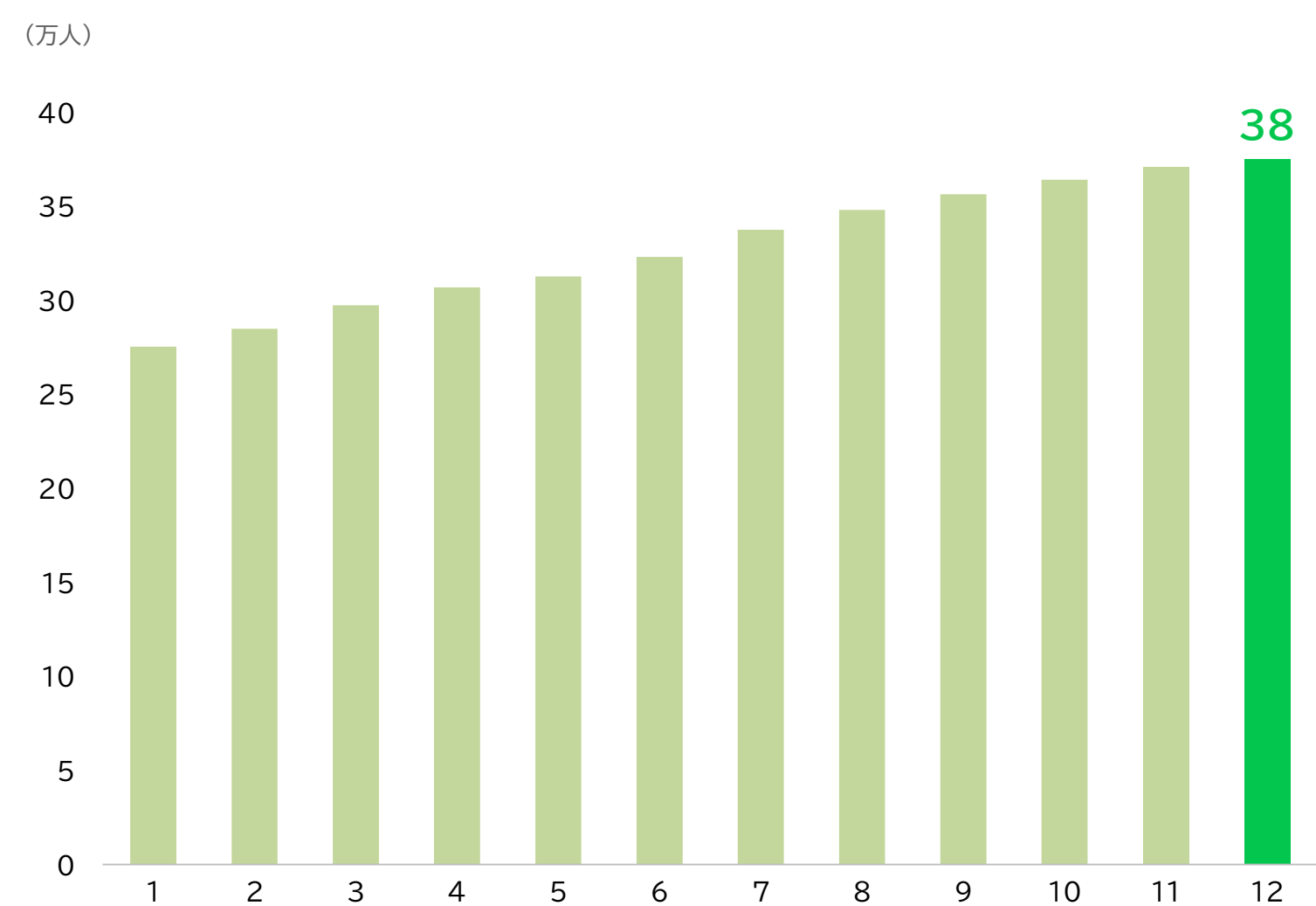


請負及びBPO案件の戦略的な受注により増収。過去最高の46.5億円。  
障がい者雇用支援事業の稼働率は堅調に推移してBEP※を超え、新たなストックビジネスの収益貢献に期待。

売上高



スタッフ登録数



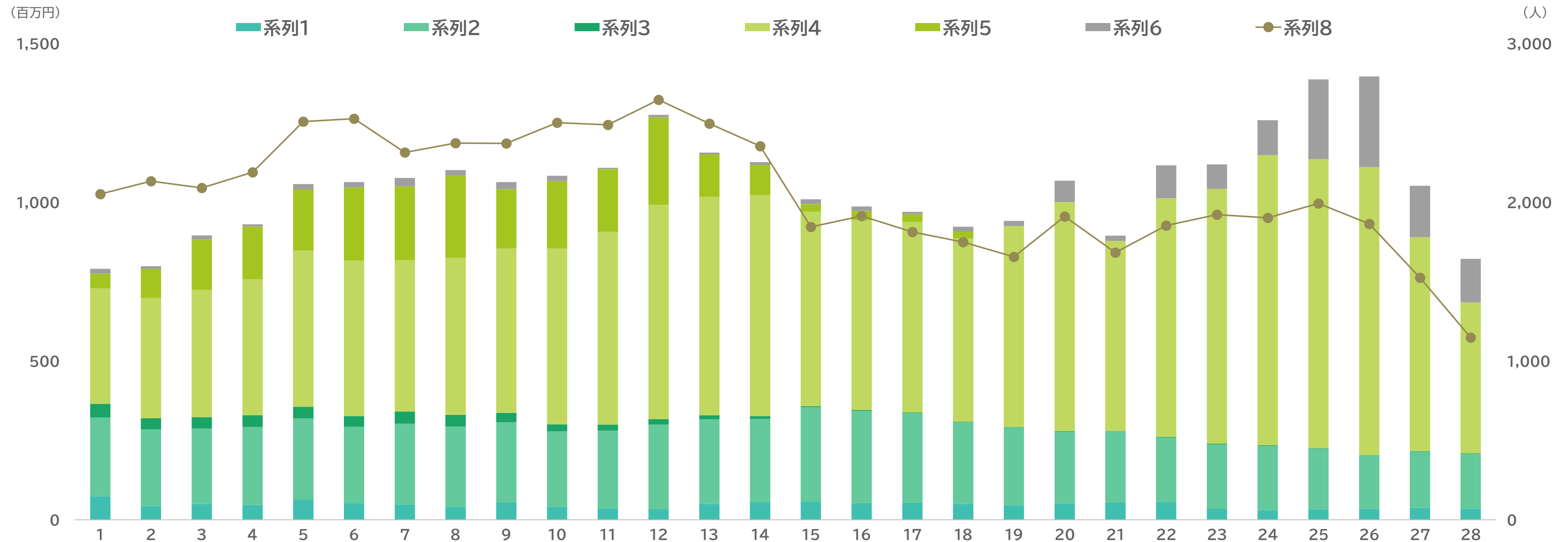
※: Break Even Pointの略で、「損益分岐点」



# シニアワーク事業 売上高(項目別)四半期推移



新型コロナワクチンの特需案件終了の影響で売上が落ち込んでいるが、来期以降はオーガニックに人員を回して、売上回復を図る。コールセンター業界はマンパワー不足の一方、企業はAI導入及び内製化(正社員登用)して教育充実を図る母集団形成に移行。インバウンド需要が加速しており、今後は観光や空港関連に注力。現在、案件が増加傾向。



01	会社概要
02	連結決算概要
<b>03</b>	<b>2024年9月期業績予想</b>
04	成長戦略
05	Appendix

# 2024年9月期 連結業績予想



オーガニックでの成長を加速させることで、**増収**を持続させ、2024年9月期以降も安定的なストック収益を積み上げる。来期予想では高利益率のコロナワクチン特需の影響を見込まないことに加え、設備投資・新規事業を計画しており減益予想。営業利益は下げるものの、オーガニックは**安定成長を継続**しており、コロナ前の営業利益率(約2.2%)以上は超える見通し。

(百万円)

	2023年9月期	2024年9月期		
	実績	予想	増減額	前期比
売上高	17,792	19,500	1,707	109.6%
営業利益	608	450	▲158	73.9%
経常利益	603	450	▲153	74.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	378	170	▲208	44.9%
1株当たり当期純利益	44.53円	19.99円	▲24.54円	44.9%

## 医療・介護業界の問題解決



### 新たな人材確保チャネル

リスキリングを通じて介護分野への労働移行の円滑化

就職氷河期世代やシニア人材などの意欲の高い人材を非正規雇用から正規に転換を支援

ワクチン接種業務で開拓に成功した医師、看護師のダブルワーカーを活用した、スポット的に発生する医療系人材ニーズへの対応

## ダイバーシティの推進



### シニア就業機会の創出

シニアと親和性の高い当社取引先の拡大

業務委託及び請負案件を獲得し、雇用の維持と創出

障がい者雇用支援サービス事業の拡大

インバウンド需要における空港関連案件の取り込み

## シニア世代のセカンドキャリア、アンコールキャリア※の構築の支援を促進

※:長く続けた仕事を退職した後に始める、新しいタイプの仕事のこと。特に、定年退職をした世代が引退後に選ぶ新たな仕事を指すことが多い。アンコールキャリアでは、経済的な利益よりも「社会にどんな良い影響が与えられるか」という点がより重視される。仕事を通して得られる他者への貢献感やつながりが個人の「生きがい」につながるのが特徴。

# ミッション① 介護業界における人材育成とリスクリング

## 高齢化社会に対応すべく、介護人材の不足の解消

### ✓ 課題

- 介護従事者の不足
  - 2022年の介護職の有効求人倍率は約4倍※1で2040年には会議従事者が約69万人※2不足すると予測されている
- 資格保有者や研修修了者のニーズ
  - 介護職は未経験の方や資格の保有がない方でも従事可能だが、より安全で質の高い介護サービスを提供するため、専門的資格の取得が求められる
- 他の業界と比較しても高い離職率
  - 介護職の離職者のうち、1年未満～3年以内の早期離職者が大半を占めており、離職者の半数以上は介護業界以外の業種へ転職しているのが現状

### ! アクション

- リスクリングによる介護人材の育成と就業支援
- サービス拡充による医療介護事業者向け業務支援
- 非正規雇用者の正規雇用への転換、キャリアアップ支援による賃上げにより早期離職を防止

※1:厚生労働省 一般職業紹介状況 介護サービスの職業

※2:厚生労働省 第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について



# ミッション② 障がい者が安心して働ける環境の構築と採用支援

## 障がい者雇用を「義務化」で終わらせず、個性を生かせる社会へ

### 課題

- 採用のノウハウがない
  - 「障害者雇用促進法」「法定雇用率」「障害種別」などのクリアしなければいけないことが多く、雇用が高いハードルになっている
- 雇用の方針及び任せる業務のイメージが湧かない
  - 会社内に適切と思える仕事が見つからない
- 採用しても定着しない、活躍させられない
  - 企業側は定着や活躍への取り組みを重要視しているものの、障がい者を思うように活用・管理できず、結果として職場定着しない、活躍させられていないという状況

### アクション

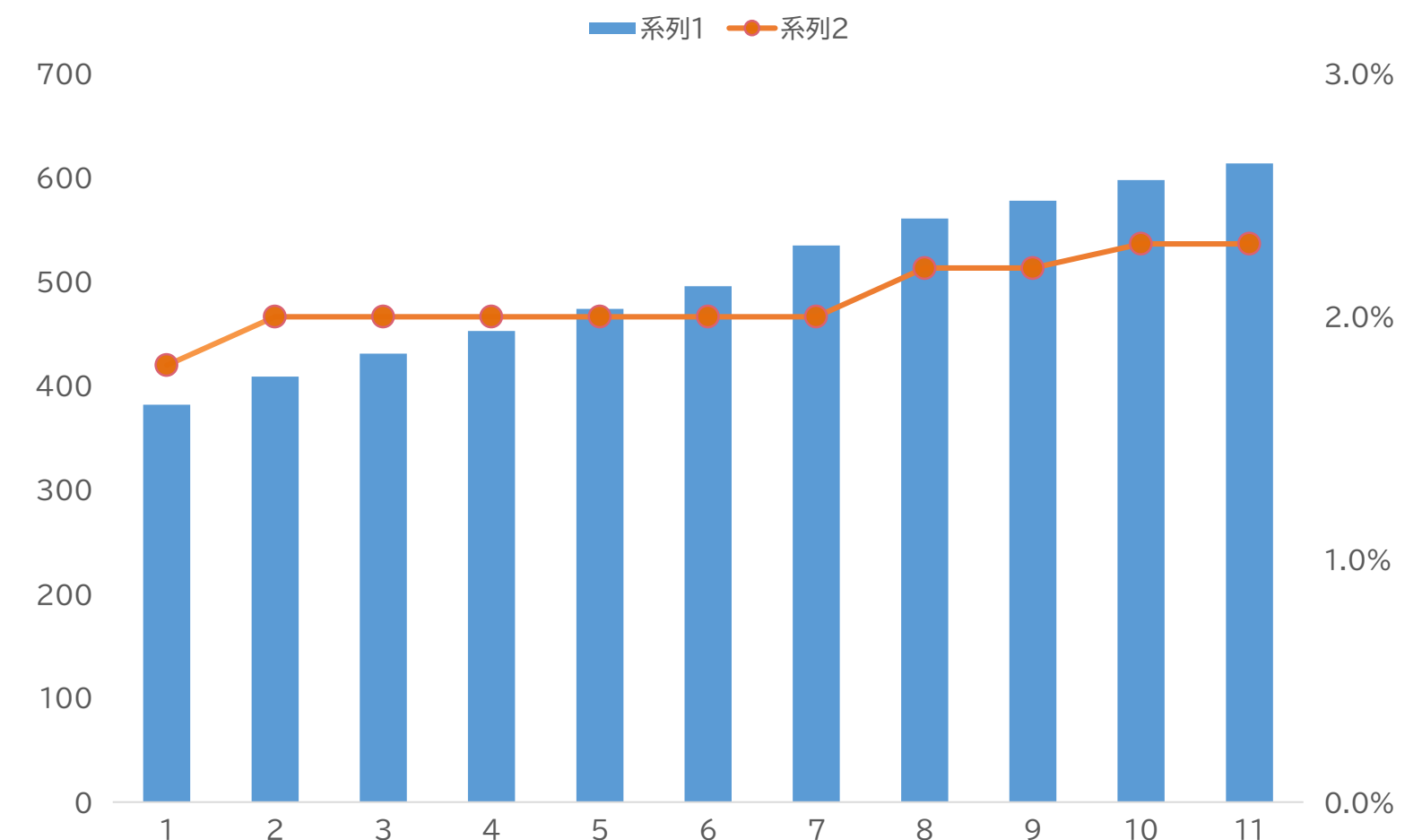
- キャリアが提供する農園「ウェルネス Mirai Farm TOKYO隅田」において、安全な就労を通じて、社会参加の機会を提供することで雇用を創出
- SDGs、ESG投資及びダイバーシティ推進などに貢献
- 「障がい者が活躍しているという感覚」と「企業からの評価」のズレを埋めていき、長期定着及び活躍できる環境の構築

※1:厚生労働省 一般職業紹介状況 介護サービスの職業

※2:厚生労働省 第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について

## 第2号のサテライト農園を建設予定

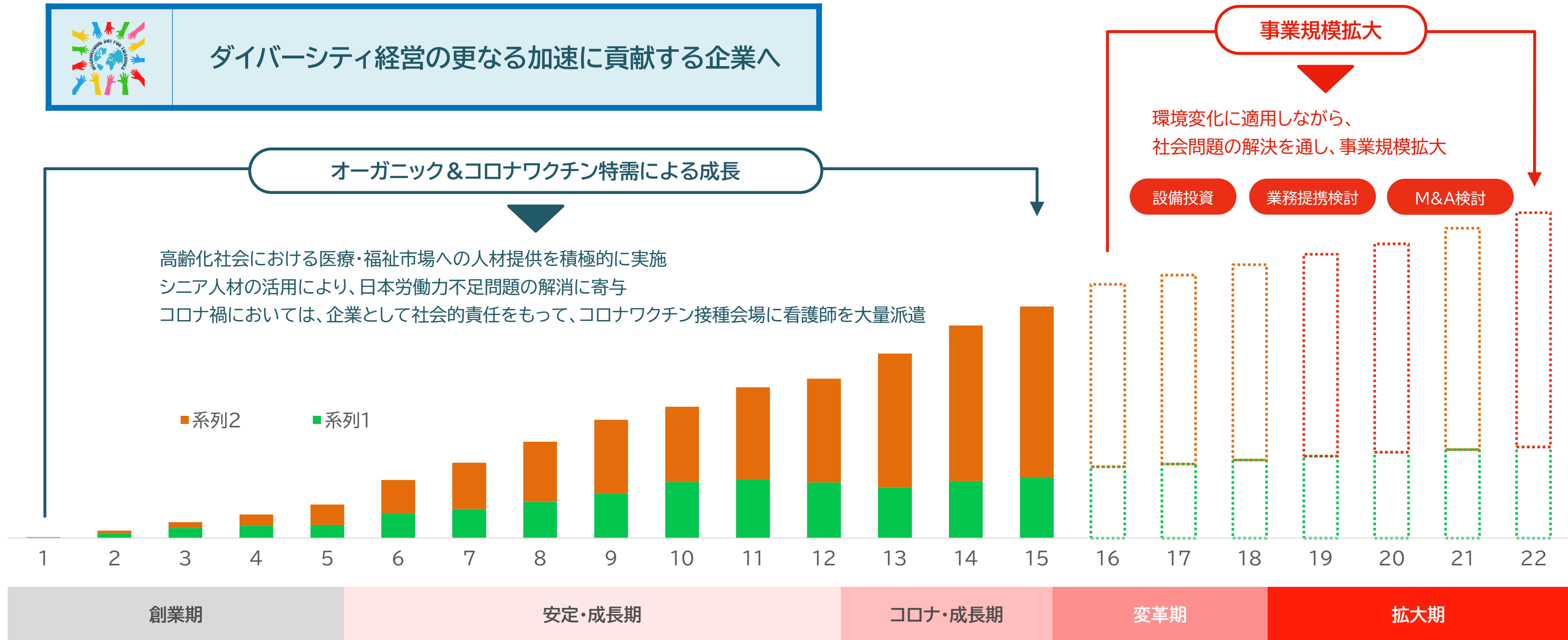
法定雇用率は2.3%。法定雇用率は2026年までに2.7%まで上昇



01	会社概要
02	連結決算概要
03	2024年9月期業績予想
<b>04</b>	<b>成長戦略</b>
05	Appendix

# 売上高の成長イメージ

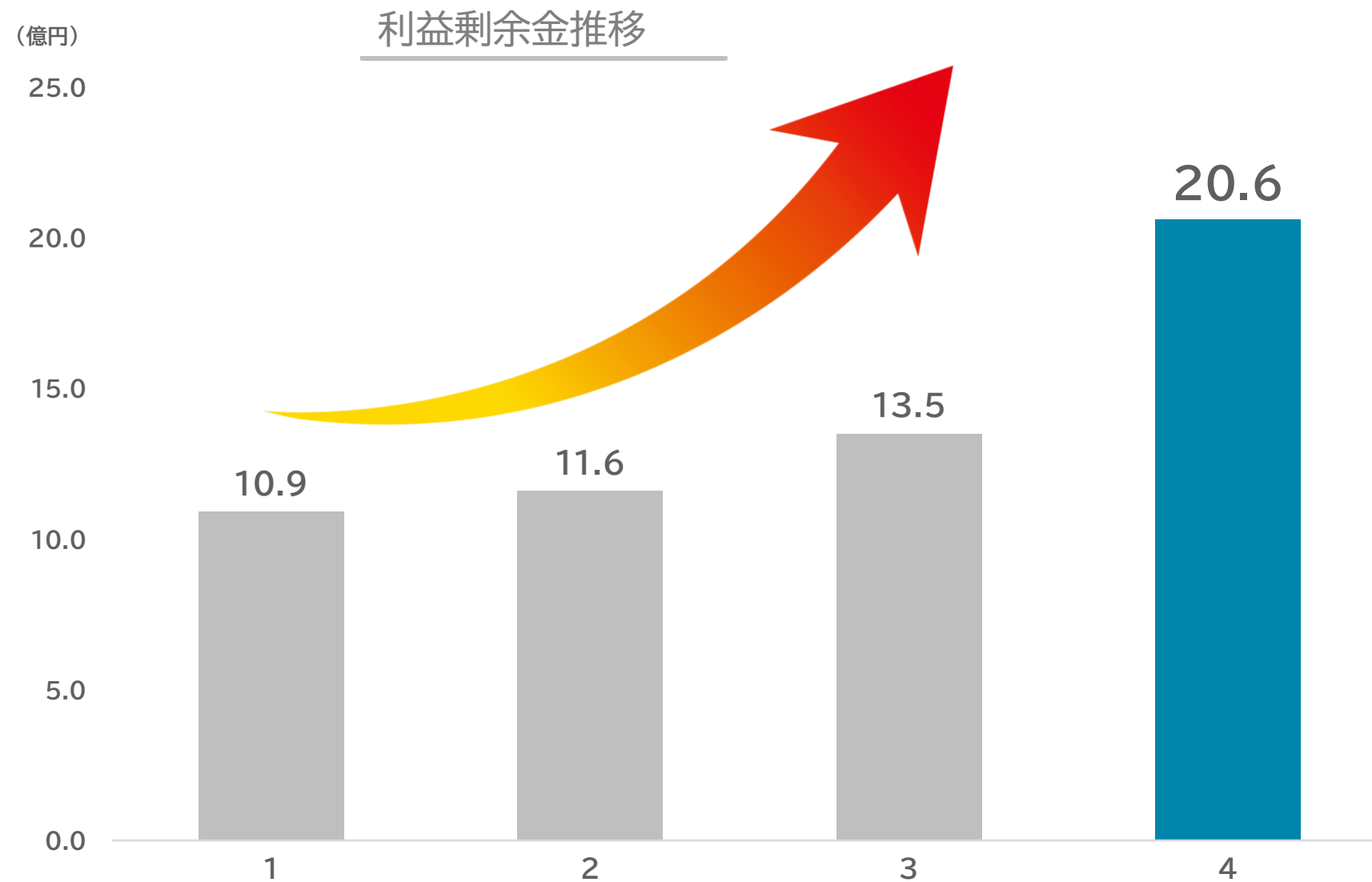
オーガニック(既存サービス)売上をベースに、挑戦を繰り返すことで新たなストックサービスを拡充させ、成長し続ける。





# 株主還元策

株主還元は重要政策の1つとして位置付けており、利益配分の基本方針として安定かつ継続的な配当の配分を検討している。利益剰余金を積み上げて配当原資を確保する一方、今後の事業規模拡大(設備投資・新規事業)に向けた内部留保の充実も図る。同時に成長のためのプラットフォームを整え、企業価値向上により株価を上げることで株主還元を実施する。



積極的な設備投資及び新規事業の拡大  
**内部留保の充実**

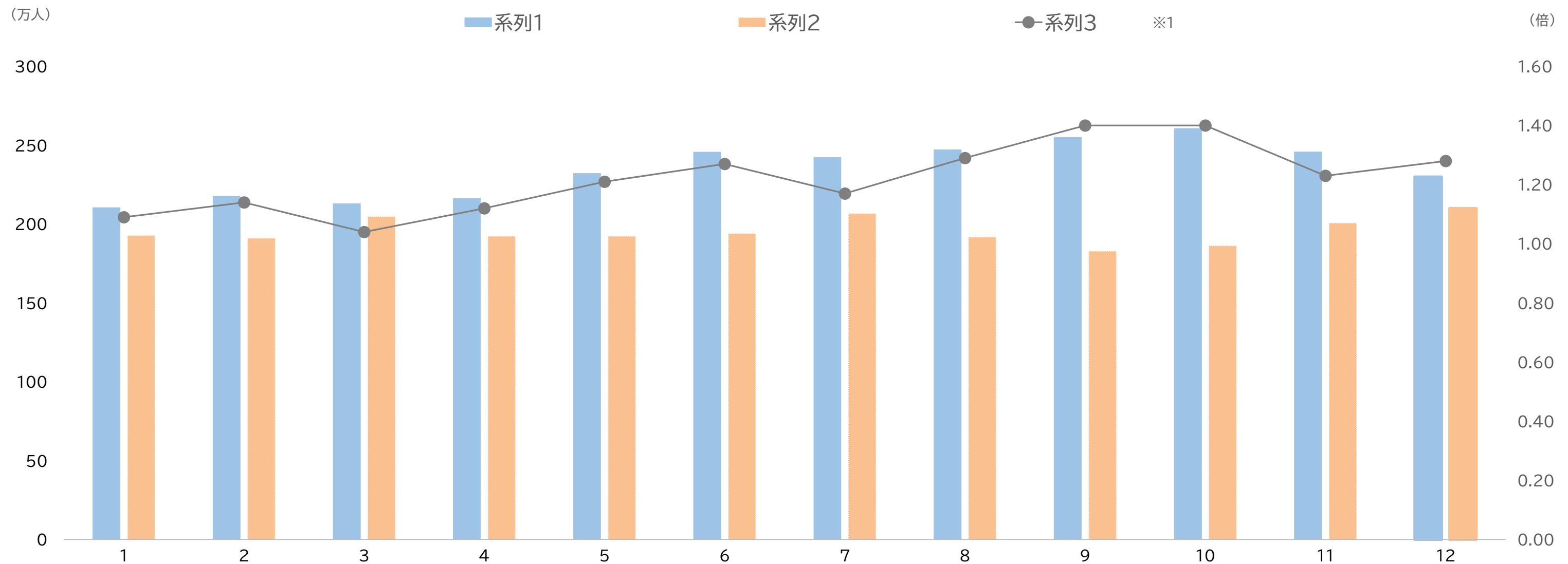
自己資本比率36.8%(2023年9月末時点)  
**自己資本比率の向上**

利益拡大及び開示資料・IRの充実化  
**株価向上**

01	会社概要
02	連結決算概要
03	2024年9月期業績予想
04	成長戦略
<b>05</b>	<b>Appendix</b>

# 有効求人倍率の推移

物価高騰により生活維持のため求職活動する人が増加。2023年9月単月の有効求人倍率は1.29倍で4ヶ月連続で前月を上回る。原材料価格の高騰を背景に一部の業種で求人を減らす動きがあるものの、雇用情勢は全体としては持ち直しの動きが続いている。

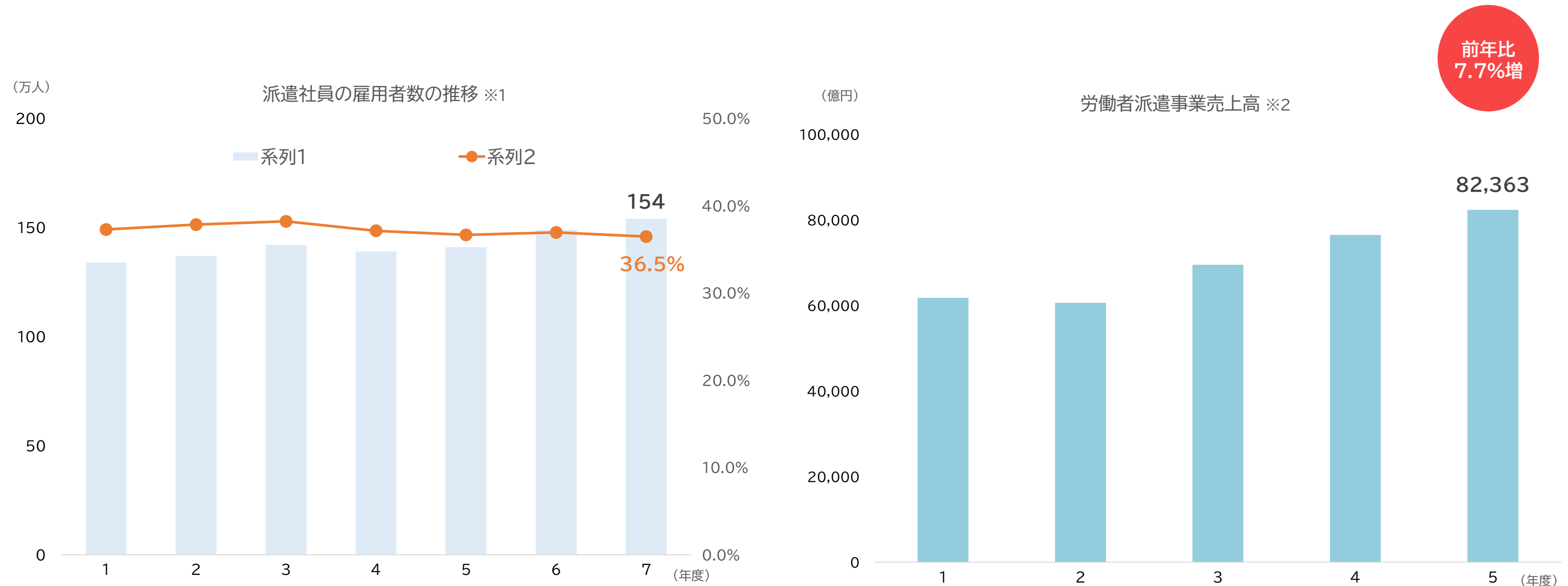


※1:総務省統計局「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」を元に株式会社キャリアにて作成

※2:1Q:10~12月、2Q:1月~3月、3Q:4月~6月、4Q:7月~9月

# 派遣事業マーケットの状況

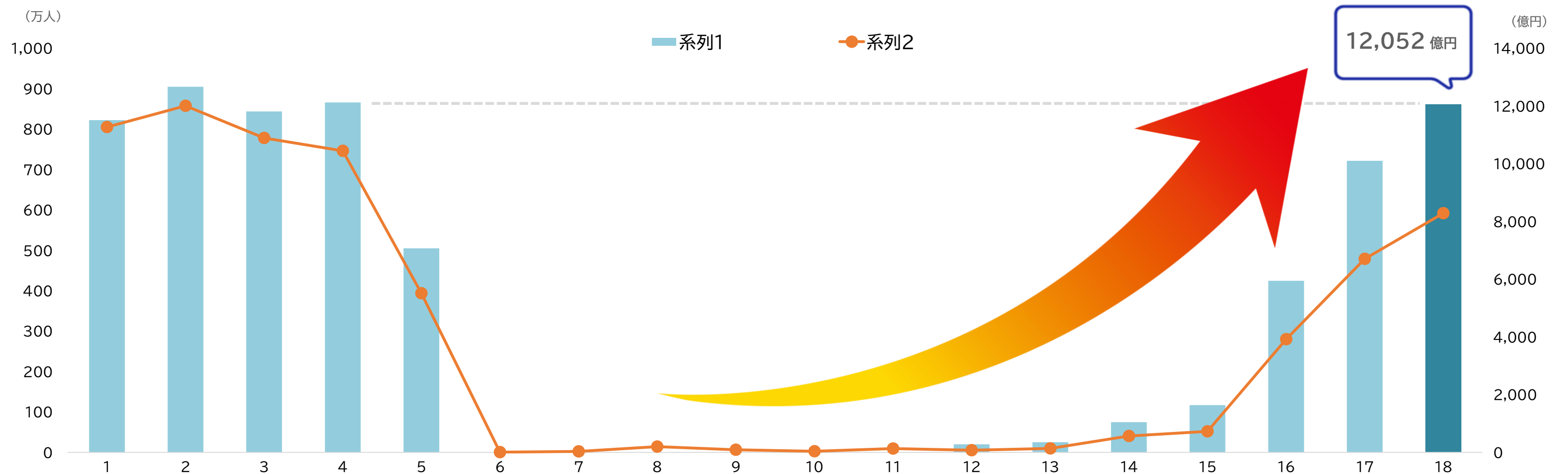
派遣社員の雇用者数は154万人。正社員以外の割合はここ数年変動はない一方、派遣社員の雇用者数は緩やかに上昇。  
最新の派遣売上高(2021年度)は、8兆2,363億円(対前年比:7.7%増)。



※1:総務省統計局「労働力調査」を元に株式会社キャリアにて作成  
※2:厚生労働省「労働者派遣事業報告書」を元に株式会社キャリアにて作成  
※3:年度は1月~12月を対象

# インバウンド需要の回復が持続

2023年6月単月での訪日外客数※1は、コロナ拡大により訪日外客数が大幅に減少した2020年2月以降の水準まで回復。円安の影響も追い風となり、外国人観光客の滞在期間も長期化し、外国人旅行消費額※2についてもコロナ前と比較して大幅に増加。インバウンド消費の回復などを受けて、対人接触型サービスの労働需要が増加されることが予想される。



※1:国土交通省 観光庁「訪日外国人消費動向調査」を元に株式会社キャリアにて作成

※2:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」を元に株式会社キャリアにて作成

※3:2020年1月期~2021年9月期の「訪日外国人消費動向調査」の調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止しており試算していません。

## 将来の見通しに関する注意事項

---

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

---

### お問い合わせ先

株式会社キャリア IR担当

### E-mail

ir@careergift.co.jp

### IRサイト

<https://www.careergift.co.jp/ir/>